

公益社団法人 小豆島青年会議所 2025年度

会員拡大会議

議長 堂山 大寿

<p>事業背景</p>	<p>1.2.3. 小豆島は、美しい自然環境や独自の文化を持つ地域である一方、さまざまな課題に直面しています。近年、人口減少や高齢化が進み、地域経済の活力が失われつつあります。特に、若者の流出は深刻で、地域の未来を担う人材が不足している状況です。しかし、これらの地域課題に立ち向かうためには、私たち小豆島青年会議所の会員数が現在の13名という少数にとどまっている現状は大きな障壁となっています。会員の減少は、活動の幅を狭め、地域貢献の取り組みに必要なアイデアを制限します。このため、会員増加を実現し、多様なバックグラウンドを持つ新しいメンバーを迎えることで、組織の活力を高めることが急務です。</p>
<p>事業目的</p>	<p>1.2.3. 会員拡大を通じて次世代のリーダーの育成に注力します。地域社会の未来を担うのは、今を生きる若者たちです。彼らが持つ多様な背景や経験を活かし、リーダーシップや問題解決能力を養う場を提供します。新しいメンバー同士のネットワーク構築や経験の共有を通じて、彼らの意識を高め、地域への愛着を深めることが重要です。このように、会員拡大は単なる数の増加ではなく、地域の未来を共に築くための重要なステップであり、会員増加に伴い私たちの影響力を高め、この力を活かして地域社会の重要な問題解決に向けた取り組みを強化し、持続的な発展を実現することで、未来の小豆島を支える確かな基盤を形成します。</p>
<p>活動概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講演会 (4月) 2. 異業種交流会 (7月) 3. 勧誘 (通年)
<p>政策手法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 4月の公式訪問例会の際に、香川ブロック協議会の力を借りながら、公益社団法人日本青年会議所もしくは日本JCシニア・クラブから講師を招き、講演会を開催する。 2. 香川ブロック協議会の力を借りながら、小豆島の青年企業人を集め異業種交流会を開催する。 3. 毎月2名以上に勧誘を行い、2ヶ月に1度意見交換会を開催する。
<p>目標</p>	<p>1.2.3. 1年間で5名の新規入会</p>
<p>パートナー</p>	<p>1.2. 公益社団法人日本青年会議所、四国地区香川ブロック協議会、日本JCシニア・クラブ</p>